

(様式1)

幸教総発第182号

令和4年7月13日

文部科学大臣 殿

幸手市長 木村 純夫

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

幸手市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

令和元年度～令和3年度（3年間）

（担当）

担当部署名：幸手市教育委員会教育部総務課

住所：埼玉県幸手市東4-6-8

電話：0480-43-1111

メールアドレス：soumu@city.satte.lg.jp

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和4年6月 事業実施校へのアンケート調査を実施
令和4年7月 幸手市教育委員会教育部総務課にて評価結果を決定

(2) 評価の方法

事業実施校へのアンケート調査を行い、その結果を基に幸手市教育委員会教育部総務課にて事後評価を実施した。
また、その結果について市ホームページにて公表する。

4. 総合的な所見

施設整備計画に記載した全事業を完了し、目標を達成した。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

令和元年度に長倉小学校の校舎トイレと体育館トイレ、令和2年度に幸手小学校、上高野小学校、行幸小学校、幸手中学校の屋外トイレ及び権現堂川小学校、吉田小学校の校舎トイレと屋外トイレの改修を完了し、衛生環境の改善が図られた。

なお、事業実施校に使いやすさや清潔さなど6項目のアンケート調査を実施したところ、すべての学校でトイレの環境が「とても良くなった」又は「良くなった」との評価を得られた。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針			事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分			
長倉小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校		R1.10～R2.2	R2.3.4	
長倉小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	屋		R1.10～R2.2	R2.3.4	
幸手小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	屋		R2.5～R2.9	R2.10.12	R元年度に交付決定、R2年度に繰り越して完了
上高野小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校		R2.5～R2.9	R2.10.9	R元年度に交付決定、R2年度に繰り越して完了
行幸小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校		R2.5～R2.9	R2.10.9	R元年度に交付決定、R2年度に繰り越して完了
権現堂川小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校		R2.5～R2.10	R2.10.23	R元年度に交付決定、R2年度に繰り越して完了
吉田小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校		R2.5～R2.11	R2.11.25	R元年度に交付決定、R2年度に繰り越して完了
幸手中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校		R2.12～R3.3	R3.3.22	